

アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

バリューゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

15歳、リ・ヒヨソンの優勝

ほとんどのゴルフファンがこの奇跡に驚いたと思うし、私自身も改めてゴルフというスポーツの意外性を認識した。

国内女子ゴルフメジャー4大会の今期初戦「ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ」で勝みなみの記録（15歳293日）を塗り替える、ツアー最年少優勝（15歳176日）を達成したり・ヒヨソン（韓国）の登場である。国内のメジャーというところで、ほとんどの女子プロは、目の色を変えてこの試合に臨んだ。今期絶好調の山下美夢有や勝みなみ、岩井姉妹、鈴木愛などの優勝が予想されたが、彼女たち実力派を押しつけて、この一人の少女が優勝を手にした。

最終組の3組前から、スタートした彼女のゴルフの最終18番ホール（パー5）でイーグルを奪うという劇的な勝利であった。スタート前の7打差を逆転し、また、韓国ツアー賞金王のイエウオンと山下美夢有を抜き去った彼女は、実力はもちろんのこと、ゴルフの女神にも強運をもらって今後もおそらく、世界の女子プロゴルフシーンをリードする逸材になるだろう。

リ・ヒヨソンは、世界アマチュアランキング23位だが、2022年、2023年の2年連続で「韓国女子アマ」を連覇するなど、現在の若さでも一流の女子プロと肩を並べるレベルの技術が備わっている。

トーナメントの最終組でもある山下美夢有とイエウオンの2人の日韓女王対決で試合は決着すると思われたが、アマチュアのリ・ヒヨソンは、残り235ヤードを3番ウッドで2オン。誰しも予想しなかったイーグル・パットをねじ込んだ。

「一か八かでした。イーグルにもなるし、ボギーにもなると思ったが、狙い通りグリーンエッジに落ちたボールがピンに寄ったのは嬉しかった」と、淡々と語った。

彼女がこの日、着用したのは、韓国ナショナルチーム（国家代表）の赤いサンバイザー。「ゴルフで優勝するより、国を背負って戦うことの方が緊張します」と、にこやかに笑った。

初日71位タイからの優勝も4日間大会の記録となるツアー史上最大の逆転劇だった。どうやら彼女の夢は、世界ランキング1位になることらしい。その道のりで、日本で戦い、我々に大きな驚きとインパクトを残したことはおそらく、女子ゴルフ史上語り継がれる歴史となるに違いない。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデューサー、コンサルティングなども手掛けている。